

Joint News Release

2025年10月10日

この資料は BASF が 2025 年 9 月 29 日に香港とインドで発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF、アジア太平洋地域で初となるバイオマスバランスの 3-(ジメチルアミノ)プロピルアミンを Galaxy Surfactants に納入

- Galaxy Surfactants、BASF の BMBCert™ DMAPA を使用し、パーソナルケア用途の Galaxy CAPB SB を製造
- Galaxy Surfactants は、BASF の BMBCert™ DMAPA を使用し、CO₂排出量削減を目指す

BASF (本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)はこのたび、バイオマスバランスの BMBCert™ 3-(ジメチルアミノ)プロピルアミン(DMAPA)のアジア太平洋地域における初出荷分を、ビューティ、ホームケア、ウェルネス市場向けの特種ケア原料および機能性原料の主要メーカーである Galaxy Surfactants Ltd. (本社:インド マハラシュトラ州ナヴィムンバイ、以下 Galaxy Surfactants)に納入しました。Galaxy Surfactants は、BASF の BMBCert™ DMAPA を用いてパーソナルケア用途の Galaxy CAPB SB を製造する予定で、既存製品と比較して CO₂排出量の削減を目指しています。

この取り組みは、Galaxy Surfactants のより広範な環境・社会・ガバナンス(ESG)ロードマップと、未来志向の低炭素ソリューションプロバイダーになるという、同社の目標に沿ったものです。Galaxy Surfactants は、特に環境に配慮したフォーミュレーションへの需要が高まっているパーソナルケアやホームケアなどの分野において、持続可能な原材

料の調達とグリーンケミストリーの実践を積極的に製品ポートフォリオに取り入れてきました。

BASFは、ドイツのルートヴィヒスハーフェンと米国のルイジアナ州ガイスマーにある生産拠点において、ISCC PLUS および REDcert² 認証を取得した BMBCert™ [※] DMAPA を製造しています。また、バリューチェーンの初期段階で化石原料を認証取得済みの再生可能資源に置き換えることで、「Cradle-to-gate」(ゆりかごからゲートまで)の製品カーボンフットプリント(PCF)を削減しています。対応する再生可能資源の含有量は、マスバランス・アプローチに従って製品に割り当てられます。また、BASF は BMBCert™ DMAPA の製造において再生可能電力を使用することで、PCF をさらに削減します。

Galaxy Surfactants の調達およびサステナビリティ部門を率いるアヴィナーシュ・ナンダマンワル氏は、次のように述べています。「私たちは、責任あるビューティソリューションやホームケアソリューションを提供する企業として、製品の性能を損なうことなくカーボンフットプリントを削減する方法を常に模索しています。今回、BASF との協業により、意義のあるイノベーションを実現し、Galaxy CAPB SB のような持続可能で科学的に裏付けられたソリューションを提供できるようになりました。これは、高い効果と環境への配慮を両立したフォーミュレーションに対する、世界的な需要の高まりに応えるものです。」

BASF中間体事業本部アジア太平洋地域 アミン／アセチレン／カルボニル誘導体部門ビジネスマネジメント担当バイスプレジデントであるヨアヒム・シュミット＝ライトホフは次のように述べています。「Galaxy Surfactantsとのサステナビリティパートナーシップにおいて、このような成果を得られたことを大変うれしく思います。これは、持続可能な化学品中間体を提供するパートナーとしてお客様に選ばれる存在を目指す、当社のビジョンとも合致しています。」

Galaxy CAPB SB は化粧品向けの液体原料であるコカミドプロピルベタインで、用途は多岐にわたります。これは両性界面活性剤として、生分解性、高い発泡性、泡立ちの向上、泡の安定性など、さまざまな優れた性能があります。ヘアケア分野では、静電気の発生を抑え、帯電を軽減し、蓄積を防いでスタイリングしやすくすることで、髪の広がりを抑える効果を発揮します。また本製品は、ボディウォッシュ、シャワージェル、液体石鹸、バブルバスなどのバス&シャワー用品にも使用されています。

DMAPAは生分解性に優れており、ベタインの重要な構成要素です。ベタインは、低刺激性な液体石鹼、シャンプー、食器用洗剤に使用されています。DMAPAを使用することで、目にしみにくく、肌に優しいシャンプーができあがります。また、DMAPAは水処理剤や、農薬製品、潤滑油添加剤、ポリウレタンフォーム、エポキシ樹脂硬化剤、などの用途にも使用されています。BASFは、アジア太平洋地域、欧州、北米に生産拠点を有する世界有数のDMAPAメーカーであり、現在の年間生産能力は70,000トンにも達します。

[※] ISCC PLUS および REDcert² は、化学工業における持続可能なバイオマスの資源利用のための持続可能性認証スキームです。これらの認証スキームに基づく認証は、使用されるバイオマスが持続可能であり、必要な量が生産システムに投入されていることを確認するものです。また、持続可能なバイオマスが、対応する販売製品に正しく割り当てられていることも確認します。認証は、独立した監査員による現地監査に基づき付与されます。

BMBcert: バイオマスバランス製品の場合、BASF はフェアブントの生産設備において、製品の生産に必要な化石原料の 100%を再生可能資源に置き換えます。再生可能炭素は、最終製品では物理的に特定できませんが、認証済みのマスバランス・アプローチによって、再生可能な炭素の割合が製品に完全に割り当てられます。こうした CoC (Chain of Custody: 加工・流通工程の管理)の手法を、バイオマスバランスと呼んでいます。透明性を確保するために、BASF の各バイオマスバランス製品について、広く認知されたマスバランス基準に準拠していることが第三者機関によって認証されています。

詳しい情報は <https://chemicals.basf.com/global/en/Intermediates/sustainability> をご覧ください。

■Galaxy Surfactants Limited について

1980年に設立された Galaxy Surfactants Ltd は、ビューティ、ホームケア、ウェルネス市場向けに 210 以上の製品グレードを提供する、機能性原料および特殊ケア原料の主要メーカーです。これらの原料は、スキンケア、ヘアケア、オーラルケア、化粧品、ローション、洗剤、洗浄液など、日常的に使用される製品に不可欠な成分です。持続可能な成長という理念に基づき、イノベーションを推進力として、Galaxy Surfactants は既存の常識に挑みながら、ホーム & パーソナルケア (HPC) 原料分野に新たな活力をもたらすことに取り組んでいます。「消費者から化学へ」という価値提案は、消費者の要求とニーズに応えるものであり、グリーンケミストリーが近年の画期的なイノベーションの基盤となっています。最先端の持続可能なイノベーションと優れたカスタマーサポートによって、Galaxy は主要な多国籍企業、地域およびローカルの FMCG ブランドにとって「選ばれるパートナー」としての地位を確立しています。
www.galaxysurfactants.com

■BASF について

BASF (ビーエーエスエフ) は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。私たちは、持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追求しています。また、お客様のグリーントランスフォーメーションを可能にする、選ばれる化学会社になるという意欲的な目標を掲げています。全世界で約 112,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、コア事業の事業セグメント (ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、ニュートリション & ケア)、スタンドアロン事業の事業セグメント (サーフェステクノロジー、アグロソリューション) から成ります。2024 年の BASF の売上高は 653 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所 (BAS) に上場しているほか、米国預託証券 (BASFY) として取引されています。BASF の詳しい情報は <https://www.basf.com/global/en.html> をご覧ください。